



第1回 中国FIT意識調査

サンプル数: 236

企画・運営: 日本之窗

(チャイナ・インベストメント・マネジメント)

調査結果

<属性>

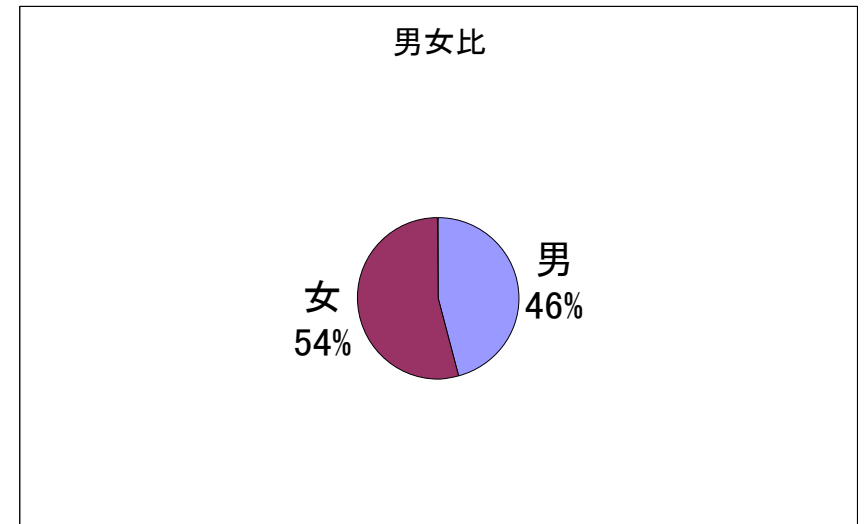
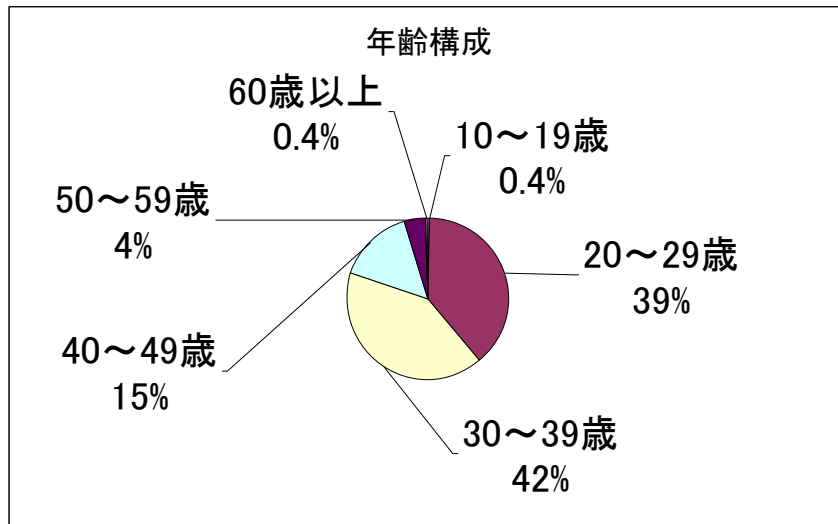
実施時期: 2012年4月28日～5月8日

調査対象: 中国全土の訪日旅行希望者

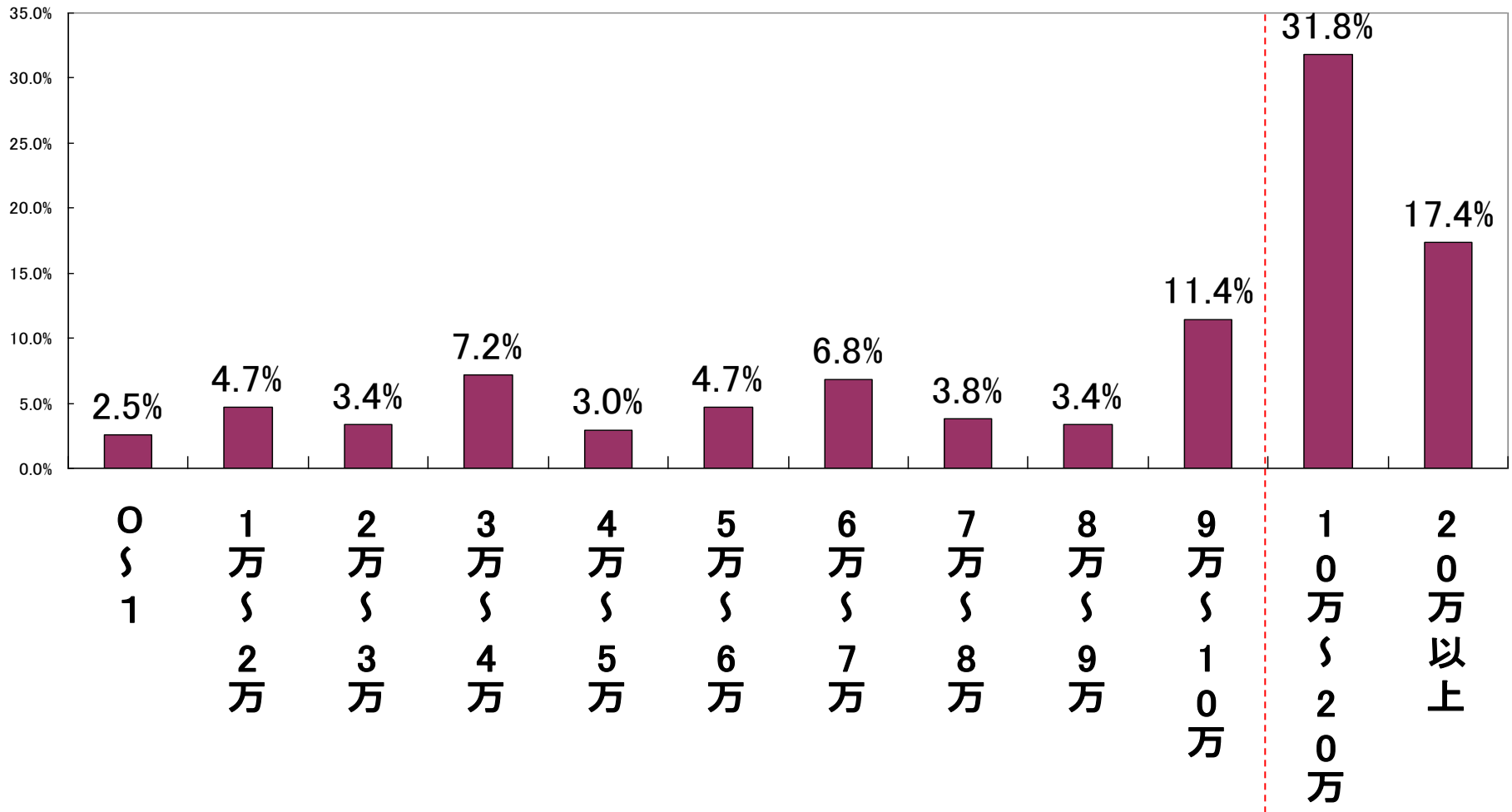
調査方法: インターネット調査

抽出条件: 日本旅行へ行くなら、自由旅行で行きたいという人

サンプル数: 236

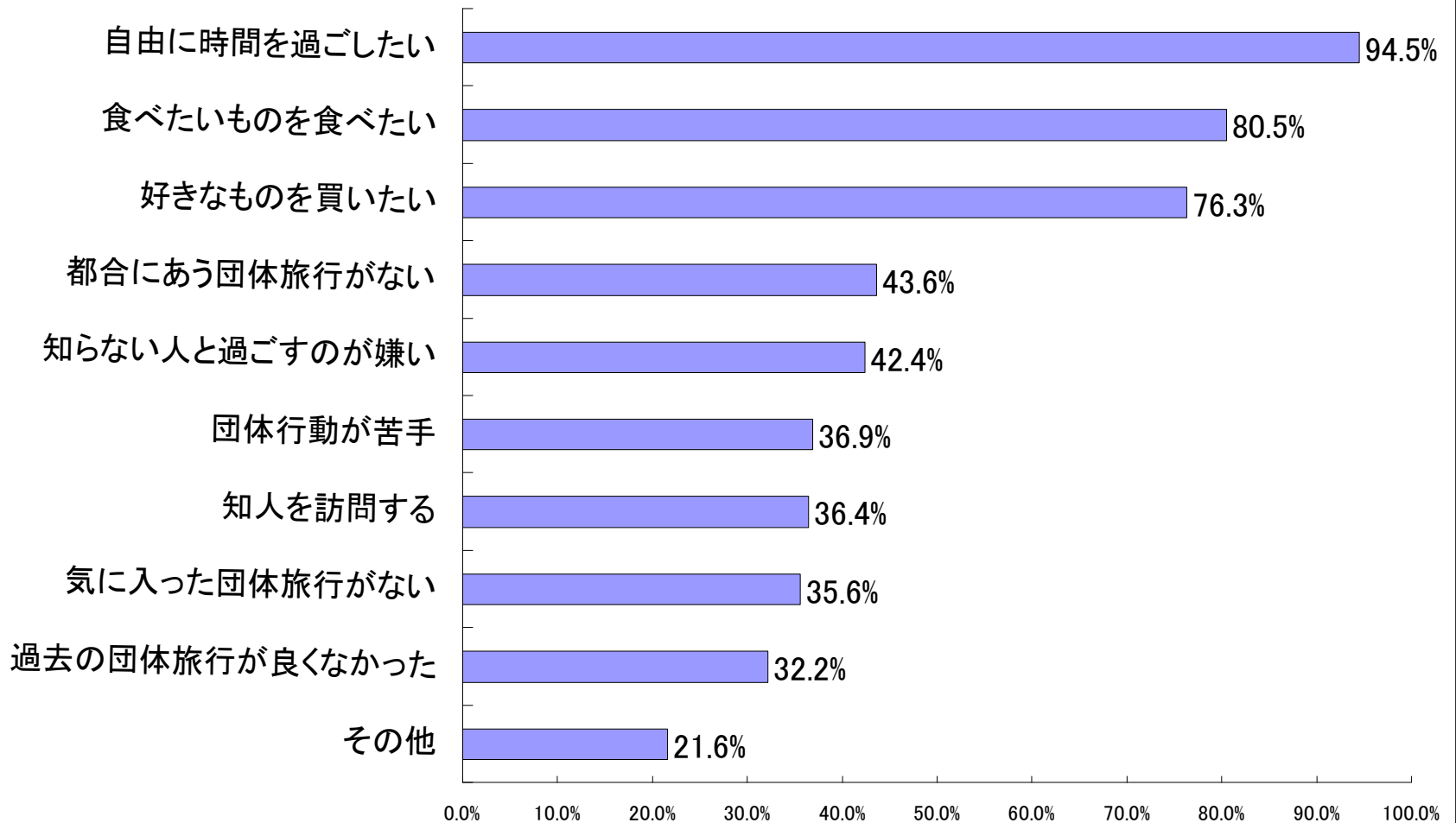


世帯年収(元)



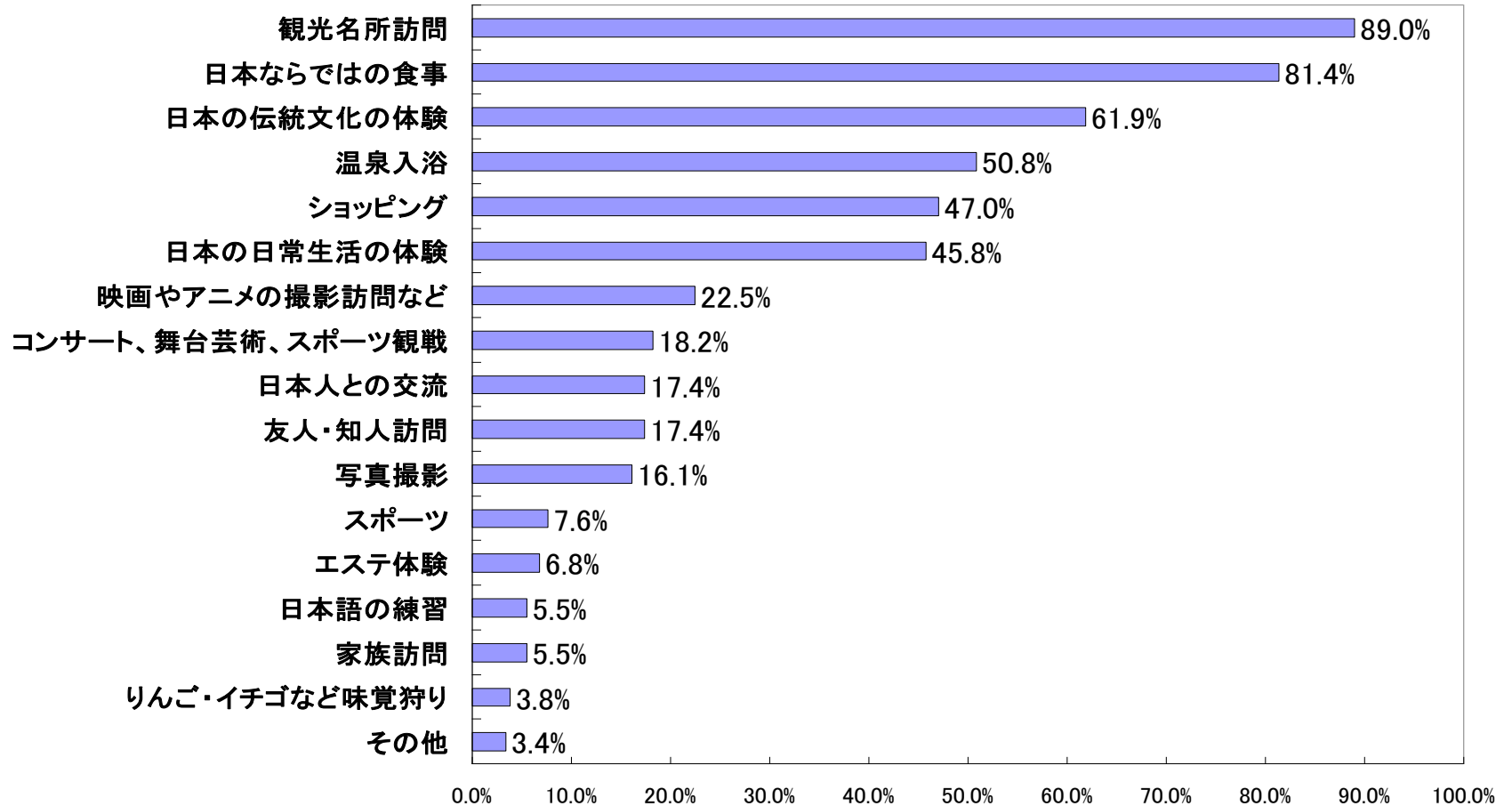
最も回答者が多かったのが、世帯年収10万～20万元(約125万～250万円)。次いで20万元(約250万円)以上が多かった。

自由旅行を選んだ理由(5個選択)



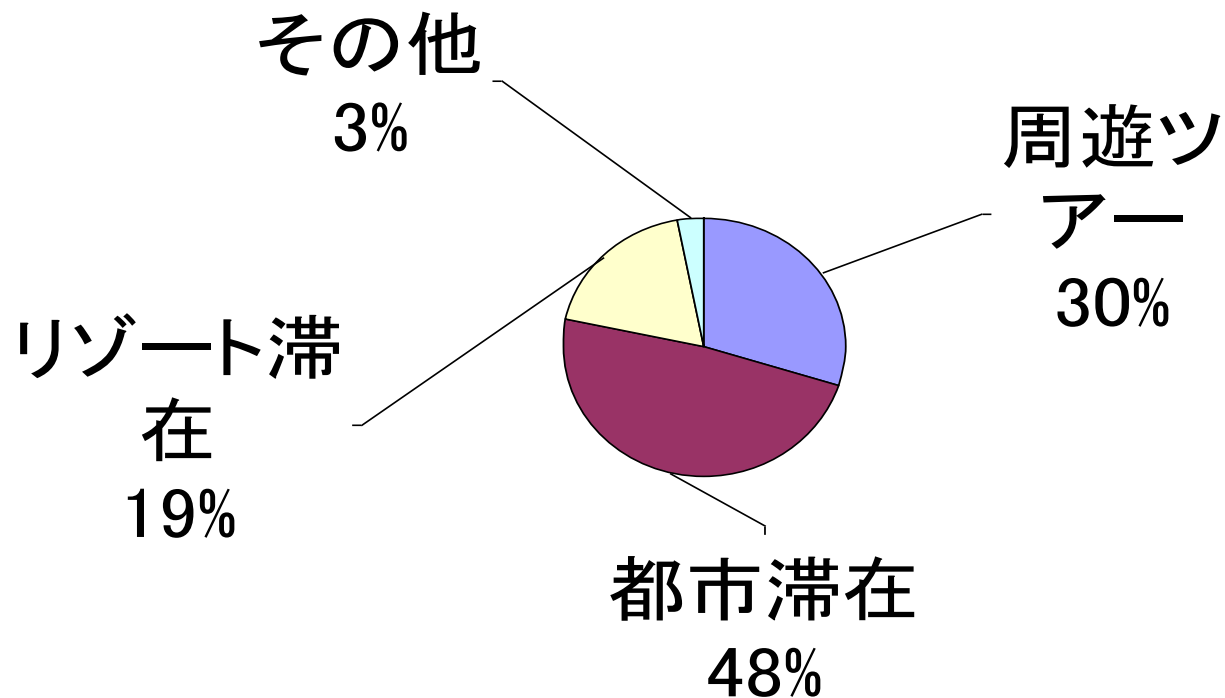
とにかく「自由に過ごしたい」が本音。

自由旅行でやりたいこと(5個選択)



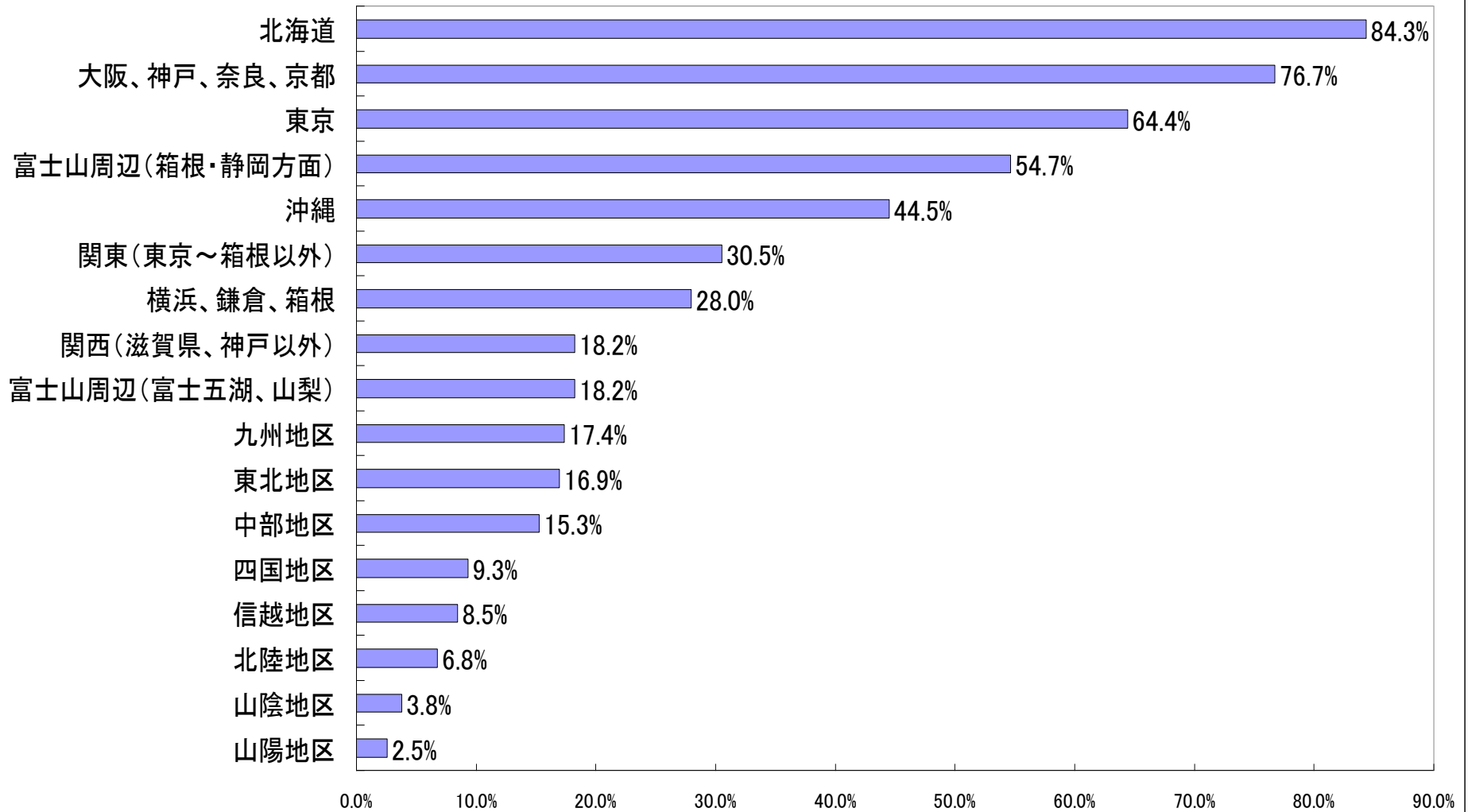
観光、食事、温泉、ショッピングが上位に。伝統文化の体験や日常生活体験など「体験」を希望する声も。他の項目が低い理由が「告知不足」か「テーマに魅力がない」か見極めが重要。

希望の旅行スタイル



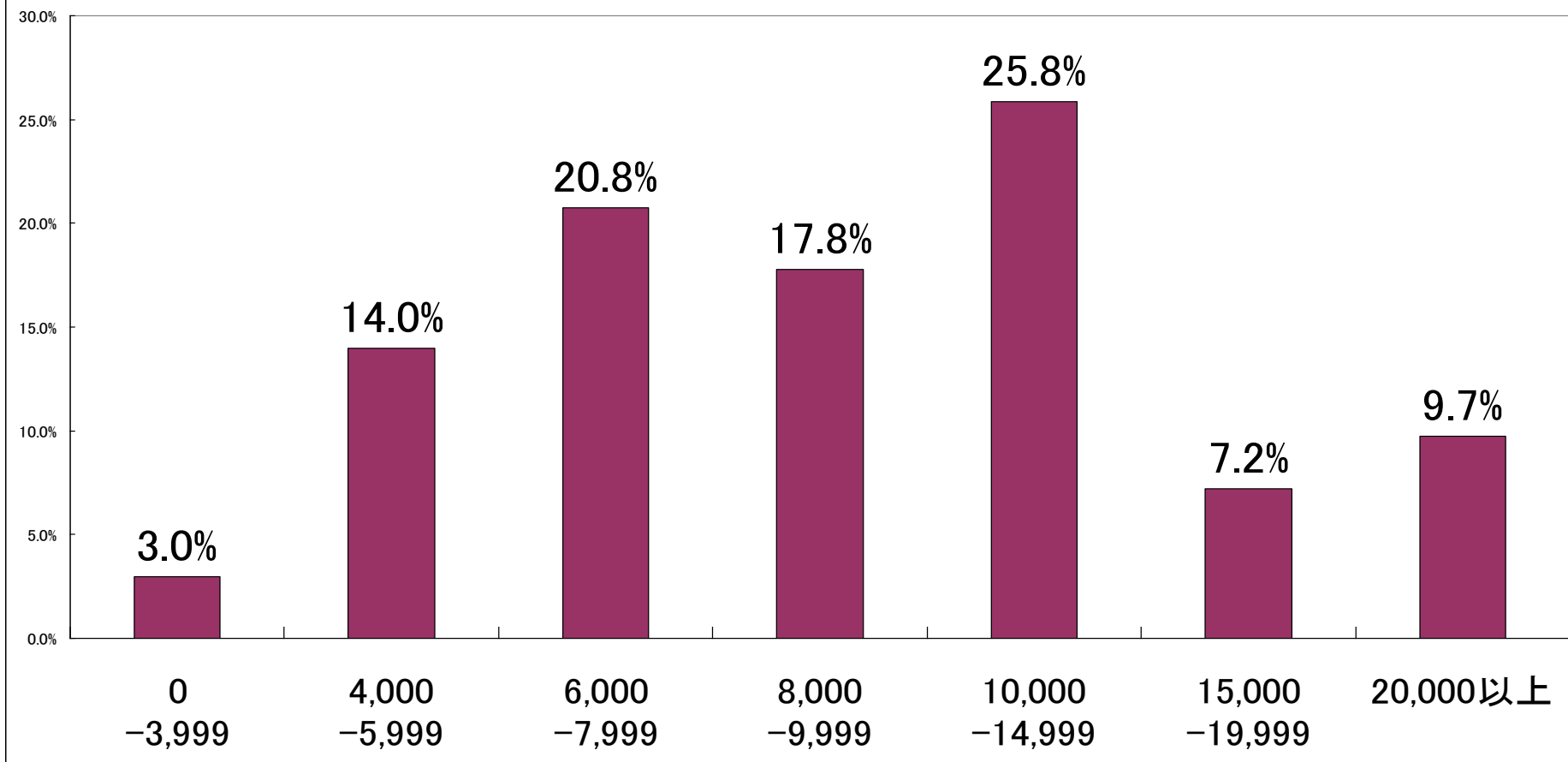
約7割が1箇所滞在型を志向。都市滞在を望む声が最も多く、次いで周遊型。

希望の訪問地(5つ選択)



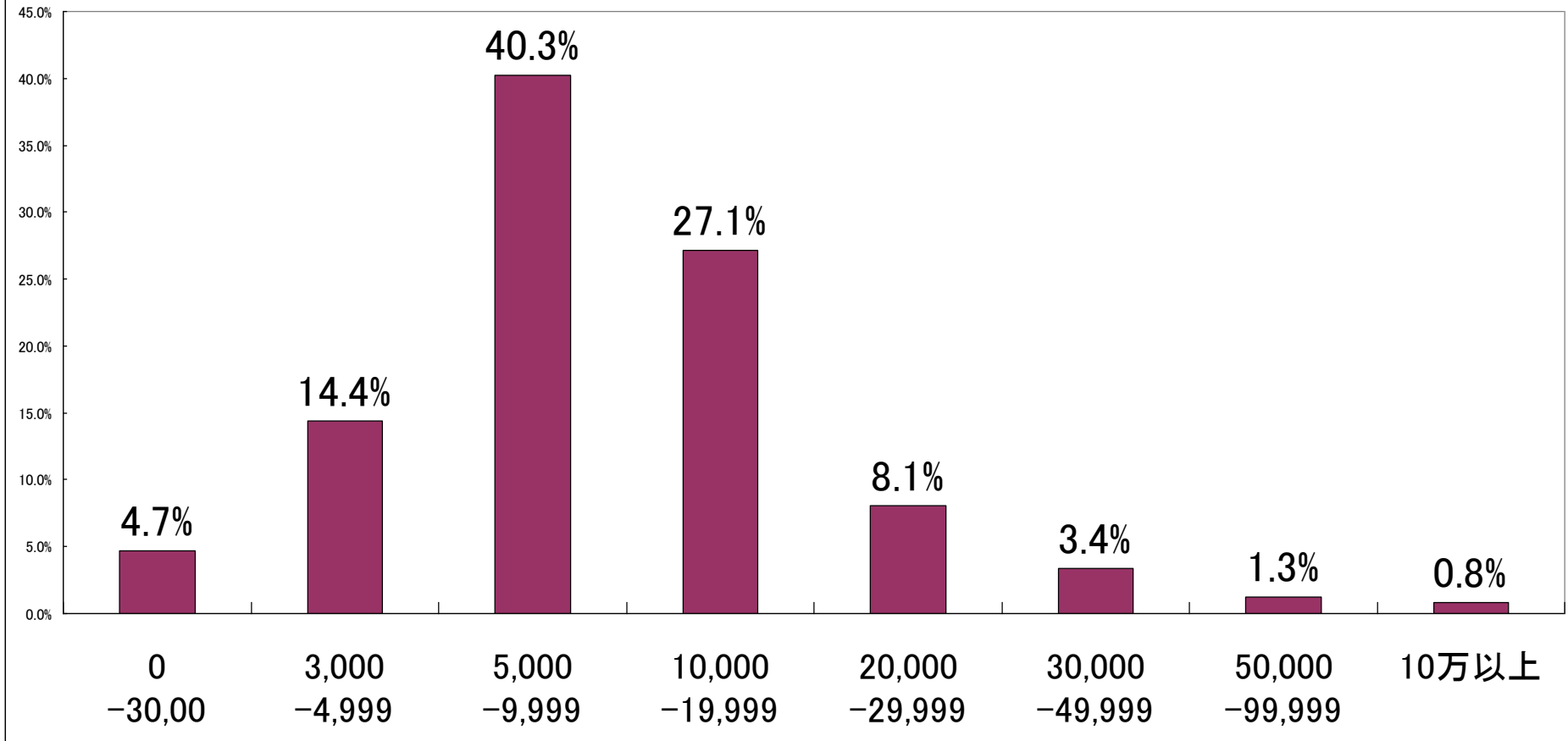
北海道に次いで関西、東京、富士山、沖縄と続く。6位以降の合計は175%となり、将来的な全国分散の可能性が見られる

訪日旅行の予算(移動、宿泊費)(元)



6,000～8,000元(約7万5000円～10万円)と、1万～1万5000元(約12万5000円～18万7500円)にピーク。
2万元(約25万円以上)以上の回答が10%弱あったことにも注目。

訪日旅行の予算(現地消費予算)(元)



5000元(約62500円)~1万元(約12万5000円)の回答が最も多く、次いで1万元~2万元(約25万円)となった。2万元以上の回答を合計すると13%以上になる。

大都市のリーズナブルなホテルに連泊し、周辺の観光スポットを自分のペースで散策。

グルメとショッピングを気軽に楽しみながら、出来れば日本の伝統文化や生活を体験したい。

旅の予算は抑えるところは抑え、使いたいところで一気に使う。

北海道や東京、大阪に行きたいが、それに限らずいろいろな場所を訪れたい。

参考資料

グラフ上の表記は一部を簡素化しています。詳しくは下記を参照ください。

■自由旅行を選んだ理由

訪問先で自由に時間を過ごしたいから
食べたいものを食べたいから
自分の好みに合ったショッピングをしたいから
自分の休みの都合にあう団体旅行がないから
知らない人と過ごすのが嫌いだから
団体行動が苦手だから
日本にいる知人を訪問するから
自分の行きたいところにいける団体旅行がないから
過去に参加した団体旅行が良くなかったから
その他

■自由旅行でやりたいこと

観光名所訪問
日本ならではの食事
日本の伝統文化の体験
温泉入浴
ショッピング(家電製品、お土産、衣類、趣味など)
日本の日常生活の体験
趣味(映画やアニメの撮影地、舞台訪問、買い物など)
趣味(コンサート、舞台芸術鑑賞、スポーツ観戦)
友人・知人訪問
日本人との交流
趣味(写真撮影)
スポーツ(マリンスポーツ、スキー、登山、トレッキング、ゴルフ)
エステ体験
家族訪問
日本語の練習
りんご・イチゴなど味覚狩り
その他

■希望の旅行スタイル

多くの観光地を巡る周遊ツアー
1箇所滞在(都市)
1箇所滞在(リゾート)
その他

■希望の訪問地

北海道
大阪、神戸、奈良、京都
東京
富士山周辺(箱根、熱海、伊豆、静岡)
沖縄
関東地区(東京～箱根以外の神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県)
横浜、鎌倉、箱根
富士山周辺(富士五湖、山梨)
関西地区(滋賀県、神戸以外の兵庫県、和歌山県)
九州地区
東北地区(青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県)
中部地区(岐阜県、愛知県、三重県)
四国地区
信越地区(長野県、新潟県)
北陸地区(富山県、石川県、福井県)
山陰地区(鳥取県、島根県)
山陽地区(岡山県、広島県、山口県)